



上尾ロータリークラブ

2024-2025年度R.I.テーマ



THE MAGIC OF ROTARY

クラブ 2024年



2024-2025年度 門崎 由幸会長

第3027回 例会

2024. 9. 5

会長あいさつ

週報 No.2266

発行 2024年 9月 12日

2024-2025年度
 会長 門崎 由幸
 幹事 齋藤 哲雄
 副会長 坂本 忠光
 副幹事 大木 崇寛
 編集責任者・公共イメージ向上委員会
 委員長 丹井 亮一

ビジター
 国際ロータリー第2770地区
 ガバナー
 岡村 睦美様(川口IRC)
 第5グループ ガバナー補佐
 前島 昌文様(桶川IRC)
 第5グループ ガバナー補佐幹事
 村山 隆之様(桶川IRC)
 地区副幹事
 佐藤 進 様(川口IRC)

行事予定
 9月19日 上尾市議会傍聴
 (会場・時間変更)
 9月26日 ロータリー財団&
 米山記念奨学委員会
 寄付向上のための
 説明とお願い

皆さん、こんにちは。本日もご出席いただきありがとうございます。
 本日は、ガバナー公式訪問ということで、後ほど岡村ガバナーに卓話を頂戴いたします。例会前に、岡村ガバナーと前島ガバナー補佐には早い時間よりお越しいただき会長・幹事懇談会を開催していただきました。懇談会で岡村ガバナーから、上尾クラブの事業や活動について、貴重なご指導やアドバイスをいただきました。それらを今後の活動事業に繁栄しクラブ活性化につなげていけるように進めて行きたいと思っております。岡村ガバナー、前島ガバナー補佐、大変ありがとうございます。また理事役員・委員長の皆様は本日例会後にクラブ協議会が開催されますので、長時間となりますがよろしくお願い申し上げます。

さて前回の例会では、クラブ管理運営について、クラブ活性化のための優先順位、クラブ将来を見据えたクラブビジョンというお題目でクラブフォーラムを開催いたしました。出席いただきました会員の皆様にクラブビジョンそして戦略計画の意識付けになったと感じております。貴重なご意見等もいただき、今後会員全体で議論していく必要があると思っております。また例会主題に対し準備不足であったと反省をしております。今後しっかりと準備し調査、根拠等を打ち出し、クラブ活性化の為、議論できればと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

前回の例会後の1週間の報告といたしまして、上尾ロータリークラブ会長としてではなく、9月3日に埼玉中央青年会議所の例会及び創立記念パーティーに参加してまいりました。埼玉中央青年会議所は来年30周年を節目のとしでありまして、私は10周年理事長として今回例会のパネラーとしてディスカッションしてまいりました。ファンリテーターは第30代理理事長予定者の高子さんという人物でありまして、高子さんは、ローターアクトであったと聞いております。また、現職のさいたま市議会議員でもあります。理事長候補者として総会承認可決までは、様々な意見質問等があり、果たして現職の市議会議員として30周年理事長が務まるのか議会開催優先しなければならない状況で組織をまとめられるのか、といった議論がございました。会員の中にも歴代理事長がいらっしゃいますが、歴代は皆、組織そして高



子さん個人を心配してでの事であると感じております。やるからには、それなりの覚悟をしなければならぬ事と、理事長として議員だからできない事もあります。全てを踏まえて高子さん本人のそのことをしっかりと受け止めているのか、そして組織団体全ての会員が理解把握し高子理事長をバックアップする覚悟はあるのかが大事な事であると思っております。それにより、組織が一致団結し活性化するとと思っておりますし、全ての会員が責任を持って活動すると感じております。時代が変わるのは早くその時代に先駆ける事が大切であります。議員になる人材を増やすことも地域活性化や自立都市に向けての早道にもなるのかと思っております。組織で学びその志を持った人材が様々な場所で活躍することが大切であります。これはロータリーも同様であります。ロータリーの志を持った会員が増える事により、よりよい地域社会になると思っておりますので、会員増強も優先事項で取り組みたいと思っております。ディスカッションの内容に関しましては、長くなってしまうので、次回にお話しさせていただきます。

例会主題

R I テーマと地区運営

RID.ガバナー 岡村 睦美様 (川口IRC)

皆さん、こんにちは。
 川口ロータリークラブより
 出向しております岡村
 と申します。どうぞ1年
 間、よろしくお願ひいた
 します。



ガバナーの重要な役目の第一が公式訪問として地区の全クラブを訪問し、国際ロータリーの本年度の方針をクラブの皆さんにお伝えすること、クラブ協議会に参加して、ぜひ国際ロータリーの方針を生かした活動をクラブで展開していただきたいとお伝えすることがあります。また地区大会を催し、全クラブ、全会員の皆さんに参加していただき、心を1つにして奉仕活動を展開していただきたいとお伝えするとう役割があります。

今年度の国際ロータリーの会長はステファニー・アーチックさんという女性です。皆さんのご記憶に新しいと思いますが、一昨年の細淵年度、ジュニア・ジョーンズさんという方が初めて国際ロータリーの女性の会長にられました。ですからステファニー・アーチックさんは2人目の国際ロータリー会長です。

昔はPETS (ペッツ)、今はPELS (ペルス) という2日間の研修を受けなければ会長になれませんが、ガバナーは国際協議会で、約1週間の研修を受けなければガバナーになれません。全世界520地区、つまり520人のガバナーが集まり、朝昼晩研修を受けました。そのうち150人が女性のガバナーでした。世界で約3割は女性のガバナーということになります。そして日本は34地区に分かれていますが、そのうち4人が女性のガバナーです。北海道は51歳という若い女性がガバナーになられております。今日、こちらのクラブに来て、皆さんお揃いのプレザーを着て恰好いいなと思いましたが、同時に女性がいないんだと感じました。今日まで29クラブを訪問しますが、女性がいないというクラブはなかったです。男性だけのクラブは珍しいので、ぜひ女性に入会いただければと思います。

幹事報告

齋藤 哲雄 幹事

◇9月のロータリーレートは1ドル=145円です。
 ◇9月12日の例会主題はV T T事業贈呈式の説明並びにダナンへの訪問についての説明の例会とさせていただきます。
 ◇9月19日、上尾市議会一般質問の傍聴です。よろしくお願ひしたいと思います。
 ◇9月26日、夜間例会でロータリー財団及び米山奨学寄付向上のための説明を行います。



委員長報告

米山記念奨学委員会 深澤圭司委員長

ただいま久保田会員から10万円のご寄付をいただきました。ありがとうございます。

例会報告

して非常に有名な方です。私は上尾クラブさんのように女性が1人もいない川口クラブに、22年前に初めての女性会員として入会させていただきました。当時、女性会員は入れないと、理事会で揉めていた時期だったので、女性会員入会反対という方が風邪で休んでる時に理事会で承認していただき、入会後も後ろの方で静かにして半年間ほど入会式をしてもらえなかったという記憶があります。関口バスターガバナーが来た時に入会式をしていただいて、ガバナーから襟ピンバッジをもらったから反対できないよねという雰囲気がありました。今、川口クラブは約20人、2割の女性会員を有しています。理事会は4割が女性ということで、かなり女性会員が多いクラブではないかという思います。

さて、非常に重要な今年度のR I テーマは、皆さんもご存じのように、ザ・マジック・オブ・ロータリーです。日本語に訳さず、そのまま使ってくださいとR I 会長は言っておりますが、ロータリーのマジック、ロータリーが起こせる奇跡・魔法、そのような意味です。

アーチックさんが、ドミニカ共和国で水道を通す事業を行い、綺麗な水が出るのを見て、子供たちがすごく喜んで、「わー、魔法だ。魔法だ」という風になって、「もっと魔法を見せてほしい」と言っただけの子どもの様子を見て、R I テーマを思いついたと言っています。ですから、各クラブ・各地区で、ロータリーのマジックを実現してくださいねという意味合いを込めています。各クラブのマジックについて、8月31日に『ロータリーの友』への投稿は締め切っていますが、12月にR I 会長が来日して、ロータリーのマジック大賞というのを差し上げますので、ぜひクラブの奉仕事業で起こしたマジックがありましたら投稿してください。

さて、今年度の地区運営方針は「未来を見据えて変化し多様性を力に」と考えました。昨日、年度計画書をずっと読んで、まさに門崎会長の方針に「変化が未来を創る、変える勇気、変わる覚悟の挑戦」と書かれていて、地区の方針と同じだなと、すごく嬉しくなりました。そんなふうにして、門崎会長が強く具体的にクラブの中で打ち出して、それを各委員会方針の中に落とし込んでいって、すごく嬉しくなったというのが正直な気持ちです。「未来を見据えて変化しよう」というのは、一昨年、私がガバナーになると決まった時からずっ

と考えてきたことです。当地区は田中作次・元R I 会長を輩出しています。30年に1度出るか出ないかというR I 会長を輩出した地区として、他地区から非常に尊敬されている地区であるということに改めて自覚しました。また財団寄付額もずっと日本一等々を誇っていて、伝統があり尊敬される地区のガバナーになるのだから、それは自分も気を引き締めてやらないといけないなと感じました。

ただし調べてみると10年間、会員をずっと減らし続けているということもわかりました。私たちの地区は4000人近い人数を有していた時期もありますが、今年7月1日はなんと2198人という、2200人を切るという、会員数を減少してのスタートになりました。地区の予算を組み立てる時に、昨年度が2350人の予算を運用していたので、100人減らしても2250人ぐらいいかなと予想したのですが、地区幹事からは100人減らした予算組では地区運営はできませんとすごく何度も迫られて、議論を交わしました。なぜ会員数が減っているのだろうと考えたところ、門崎会長が年度計画書に「現状維持は衰退する」と書いていて、私も変革を実行していかなないと組織は衰退してしまうと思います。ですから当地区が会員数を減らし続けているのは、単にコロナだからとか、人口が減っているからではないのではないかなと考えました。

いろいろな意味で「多様性を力に」と副題にしたのは、せつかく私がガバナーになったのだから、もう少し女性の視点や、それから若い人にもチャンスを与えよう、能力が高い人にはチャンスを与えていこう、色々とながら行っていく。変化を与えるということに、まず地区の人事、組織から少しずつ勇気を持って改革しようと考えました。まさに門崎会長と同じような意味で、覚悟を持って臨んでいこうというような思いからこのテーマを作りました。

さて、R I 会長の最優先事項ですが、私もガバナーになるための研修を受ける前に、やっぱりうちの地区は、会員増強だっというのを思っていました。調べてみると、毎年、200人はずっと減らし続けていました。会員減少の理由をよく調べてみると、お亡くなりになる、高齢化が進む、病気で退会、引越す、仕事を辞める、つまり仕方ない事情で退会する方が多いことがわかりました。ということは、200人減らすことは止められないのだから、会員数を増やすには200人以上の増強をしないと、減少に歯止めはかけられないということです。毎年30人ずつ、

私とエレクトとノミニーが増やして、3年後に100人増やしたいねと相談しています。それで国際協議会でのR I 会長の最優先事項が「会員増強のための行動計画を押し進める」とありました。しかも各地区100人増強と、各地区4つの新しいクラブを作ってくださいと目標を掲げ、520人のガバナーに「ここで皆さん約束してください」と仰り、そうしないと国際ロータリーは会員を減らしてどんどん衰退してまいりますよと強く危機感を訴えていました。高い目標設定を聞き、私は頭を抱えながら帰りました。

そんな折、田中作次元R I 会長にお会いする機会があり、この目標を相談したら「地区100人だったから簡単だね。私がガバナーだった時、世界一の増強をして、新しいクラブを20作りました。財団の寄付も世界一で、『世界一』を2つやったんですよ」とサラリと仰られてさすがだと思えました。その後、田中さんは笑いながら「でも、すごく嫌われましたよ」とも仰いました。朝5時にガバナー補佐や会長に電話して、増強がままならないことを叱責していたそうなので、私はそこまでしなくても、各クラブの会長さんに増強してもらいたいと思っています。

そして「積極的世界平和の実現・平和構築の推進」をアーチックR I 会長は強く訴えています。平和構築の推進は、政治的解決のことを言っているのでは

なく、実はロータリアンの皆さまに、ロータリアンとは何かという内面的なことをもう1回思い起して自覚してほしいと言っています。「四つのテスト」と「中核的価値観」をもう1回、皆さん、日々の活動の中、多様性、高潔性、リーダーシップを守って、それを誇りに思っているのがロータリアンなので、ロータリアンがたくさんいれば、戦争のような醜い争いが起こらないようになるに違いありません。また「DEI+B」=多様性、公平性、インクルーシブ、帰属意識を、持って実践していただくことが大切です。

さてロータリーは単年制ですが、今年から「3年間の目標と計画=3-Year Rolling Target/Plan」を設定して活動してください、とアーチック会長は訴えています。地区も目標と計画を、エレクトとノミニーとで進めているので、クラブでもぜひ目標と計画を設定してください。

いろいろな議論を交わしながら一歩でも前に進めればいいなと思っていますので、ぜひ皆さんと心を1つにして新しい扉を開けたらと思います。どうぞ1年間よろしくお願ひいたします。本日はありがとうございます。

スマイル

岡村ガバナー、本日はありがとうございました!

岡村睦美ガバナー/前島昌文ガバナー補佐/村山隆之ガバナー補佐幹事/
 佐藤進地区副幹事/門崎会長/齋藤哲雄幹事/坂本副会長/大木崇寛副幹事/
 大塚信郎会員/小林会員/村岡会員/尾花会員/大木保司会員/細野会員/
 大塚崇行会員/齋藤重忠会員/深澤会員/久保田会員/関口和夫会員/
 藤村会員/須田会員/樋口会員/宇多村会員/長沼会員/齋藤修弘会員/
 丹井会員/関口良康会員/山崎会員/寺脇会員/木田会員/荒井会員/原田会員

出席率	
会員数	35
出席免除	3
出席対象者	32
出席者数	28
87.50%	

例会日 毎週木曜日12:30~13:30 事務所 〒362-0035 埼玉県上尾市仲町1-8-31 新和エクセルビル303
 例会場 上尾東武ホテル3F(コミュニティホール) TEL 048-775-7788 / FAX 048-776-9799

